

平成20年5月26日

会員各位

広報部

1日1回は日本病院薬剤師会のホームページを確認しよう

5月下旬に熊本市の病院で農薬を飲んで自殺を図った男性の吐いた吐物から有毒のガスが発生し医師や周りにいた者が手当を受けたというニュースはまだ記憶に新しいものと思います。その農薬はクロルピクリン（トリクロロニトロメタン）というものでしたが、薬剤師はその物質の情報を緊急に知る必要があります。そのような情報を得るところに「国際化学物質安全性カード（ICSC）」があります。現在、1,615物質のICSC日本語版が収載されています。このウェブサイト（<http://www.nihs.go.jp/ICSC/>）へも日病薬のホームページの「リンク」から検索ツールを使用しなくてもすぐ見るようにしました。

本会のホームページは広報部が中心となり事務局と連携を図りながら企画運営しており、会員の皆様に必要となる重要な情報を逐次発信しております。我々を取り巻く環境は、多くの情報をより早く正確に把握し理解する必要があります。そのためにはインターネット環境は、もはや必須のツールとなっています。

会員の皆様におかれましては、最低1日1回は本会のホームページを確認されるようお願いいたします。なお、IDおよびパスワードは日本病院薬剤師会雑誌の巻末に掲載しております。